

Q1：やってみてどうだったか？患者さん役の人から一人ずつ感想を語る。

- ・小さいところから良い所に着目してほめる技術の大切さを感じました。
- ・ほめてもらうことはとてもうれしい。
- ・患者さん役をやってみたら、患者さんの気持ちをわかった気がした。

Q2：患者さん役の人にどのような質問がよかったか、印象に残っている質問を教えてください。また、看護師役同士でも他の人のこの質問がよかった等、お互いをコンプリメントする。

- ・患者の良い所が引き出せるところがいい。
- ・ほめられてから質問をするほうが、患者さんも話しやすかったようだ。
- ・ほめてもらって質問されると話したいと思う。もっと生活状況がわかると思う

Q3：患者さん役の人から、もう少し、こうして欲しかった、こういう表現をしてもらえると気持ちが楽になったと思う、相手に信頼感が持てたなどを教えてください。

- ・1つ1つのことに対してほめてもらうことでもっといろんなことを話したくなり、前向きは気持ちになれた。
- ・相づちや笑顔で対応してくれることで自分のことをわかってもらえていると感じることが出来た。
- ・ほめてもらって気持ちがいい。→話がしたくなる。問題以外の話もしたい。

Q4：看護師役の方はメッセージ作成、伝えてみて患者さんへの印象がどう変化したか、

患者さん役の方はメッセージをもらって感じたこと、印象に残った表現を全体で共有する。

- ・自分や家族にことを話してくれない患者さんもいるので、コミュニケーションをとるときの看護師側・患者側の気持ちが分かった。(1グループ)
- ・患者さんへのアプローチで悪いところだけ見て、ほめたりコンプリートしていないと今日、気付くことが出来た。患者が頑張っていることにも目を向ける。
- ・患者をほめていってアプローチしていくことの大事さを知ることが出来た。
- ・患者でコントロールできている方にもどのようにされているのか、コンプリートしていくのも大事だと思った。